

提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名：あきる野市DX推進方針（案）

募 集 期 間：令和5年1月15日（日）～令和5年2月6日（月）

意見等提出件数：2件（提出者1名）

あきる野市DX推進方針（案）に対する意見募集にご意見ありがとうございました。

以下のとおり、ご意見の概要と市の考え方について、ご紹介させていただきます。

項 目	意見の概要	市の考え方
自治体DXだけでなく、地域産業のDXまで踏み込むべきではないか。 （全般）	<p>① 自治体DXだけではなく、地域産業のDXまで踏み込むべきではないか。</p> <p>（ア）あきる野市DX推進方針（案）は、主に自治体業務/サービスのデジタル化が対象の認識です。もちろん、この取り組みは進めていくべきです。</p> <p>（イ）ですが、地域産業のDXに触れずして、地域全体のデジタル化、つまりあきる野市に住む人・関わる人の生活に、当たり前のようにデジタルが組み込まれている社会の実現はありません。</p> <p>（ウ）地域として目指す方向性を定義したうえで、それを促進するデジタル施策を立案し、必要ならば企業の誘致を働きかけるべきではないでしょうか。</p> <p>例：あきる野市が「観光」を強化していくならば……。観光客が地域のアクティビティの検索、移動手段の調達、決済までモバイルで完結できる仕組みをつくる。観光をデジタルで高付加価値化できるITベンダーを誘致する。</p>	<p>本方針は、本市の第2次総合計画の重点施策の一つである「自治体DXの推進」に取り組むための分野別方針として、国の「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の内容を踏まえ、市の自治体業務やサービスのデジタル化を推進するための基本的な方向性を示すものとして策定しております。</p> <p>ご意見をいただきました、地域産業を含めた地域のDXについても、本方針のビジョンでは、「すべての市民、地域社会がデジタルの利便性を享受できるようにすること」としております。そのため、地域産業などにおけるデジタル化についても、視野に入れて取り組んでいく考えです。</p>
効果的なデジタル施策を立案・推進するための方法論とスキルが必要ではないか。 （5. 具体的な取組項目 P.18）	<p>（ア）「5. 具体的な取組項目」として11の個別施策が挙げられていますが、これらの施策を立案・推進するには、方法論とスキルが必要かと思えます。</p> <p>（イ）例えば「(3) AI・RPAの活用による業務改革」にあたっては、1.自治体業務の洗い出し→2.業務課題の整理→3.業務プロセス再構築（廃止・統合・簡素化など）→</p>	<p>本方針に記載のあります11の具体的な取組項目については、年度ごとに定めたスケジュールにより、取組の進捗管理を進めていくこととしております。そのための推進体制として、CIO（副市長）を本部長とするデジタル化推進本部、テーマごとに組織する部会やワーキンググループにより、検討を進めることとしており、一部の取組項目につい</p>

	<p>4. デジタルを活用した効率化施策の検討→5. アクションプラン化→6. 実行 という流れで進むかと思えます。</p> <p>(ウ) デジタル施策は、往々にして「デジタル導入が目的になりがち」「施策は出したが実行段階で頓挫してしまった」に陥りがちです。現状を整理する論理的思考力、アイデアを出す発想力、そして関係者と協働しながら施策を推進するリーダーシップが必要かと思えます。</p>	<p>では、すでに検討を開始しているものもございます。</p> <p>ご意見にありますように「デジタルの導入が目的になりがち」とならないよう、デジタル化3原則やBPRを踏まえた上で、取組を進めてまいりたいと思えます。</p>
--	---	--